

# 売れなかつた牛の話

## 「なんで売るの？」



こうすけ

森川放牧畜産

### 森川放牧畜産を活動を応援する方法

- ①民泊（長崎県西海市）
- ②お肉の購入（BASEより）
- ③支援する（BASEより）
- ④祈土の購入（BASEより）

＼応援はこちらから／



Instagram：  
morikawachikusan

活動場所：  
長崎県西海市

連絡先：  
morikawachikusan.shop@gmail.com

お金がなかつた頃、足腰の弱い、安い牛を迎えた。名前は、こうすけ。メスでした。強い牛は買えなかつた。けれど、来た命を断りませんでした。こうすけは、ゆっくり生きました。

何度も何度もお産をし、立派な子牛を産んでくれました。弱いと思っていた身体で、命をつなぎ続けました。それでも現実は厳しく、資金が足りず、市場へ三度連れて行きました。

子どもたちは泣きました。

「なんで売るの」と。

三度とも、誰も買いませんでした。数字で測る世界では、こうすけに値はつきませんでした。牛舎へ連れて帰り、家族で決めました。ここで、死ぬまで面倒をみようと。

最後のお産の前、こうすけは立てなくなりました。はじめての帝王切開。小さな命が生まれました。生まれた子牛をこうすけの目の前に見せると、大粒の涙を流しました。

そして、そのあともなく、命は止まりました。子どもたちは号泣しました。けれど、その涙の中で命の重さと、つながるということを知りました。

数字で測れば、売れない牛でした。けれど、家族の中では、かけがえのない存在でした。値がつかなかつた命が、子どもたちの心に、一生消えないものを残しました。命は、価格では決まらない。弱さは、価値の低さではない。

そして、こうすけも、ずっと生きています。